

わたしたちの記録

4

2012 APRIL

広報

なみえ

- 2 町民の皆さまへ
- 3 事務組織が変わります
- 4 子どもアンケート集計結果
- 8 平成24年度予算のあらまし
- 10 まちの話題
- 12 情報びっくあっぷ
- 16 浪江のこころ通信
- 24 連絡先一覧・空間放射線量測定結果

旅立ちの日

—浪江中学校—

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

事務組織が 変わります

総務課	秘書係	町長秘書など
	行政係	一般行政、選挙、人事、避難先市町村総合調整など
	財政管財係	財政全般、財産、仮設庁舎建設など
復興推進課	復興企画係	復興計画策定、復興施策、行政評価、行財政改革など
	まちづくり整備係	まちづくり再編、復興住宅計画策定など
	情報統計係	情報政策、統計、広報広聴など
町民税務課	住民係	戸籍、住民票、印鑑登録、避難先名簿管理、総合窓口案内など
	納税係	町税および国民健康保険税の収納、収納対策、税務証明など
	課税係	町県民税、国民健康保険税、軽自動車税、固定資産税、家屋被害調査、罹災証明発行など
災害対策課	消防防災係	消防、交通、防犯、災害対策本部業務、原発事故対策、避難区域見直し、一時立入など
	放射線対策係	除せん計画調整・実施、放射線測定など
	生活環境係	廃棄物処理、ガレキ撤去など
生活支援課	住宅支援係	仮設住宅・借上げ住宅管理など
	避難生活支援係	自治会、絆づくり、支援物資、生活支援など
	福島出張所	出張所運営、仮設住宅支援、自治体調整など
	桑折出張所	出張所運営、仮設住宅支援、自治体調整など
	本宮出張所	出張所運営、仮設住宅支援、自治体調整など
	南相馬出張所	出張所運営、仮設住宅支援、自治体調整など
	いわき出張所	出張所運営、自治体調整など
二本松連絡所	仮設住宅支援など	
健康保険課	国保年金係	国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金など
	健康係	健康づくり、予防接種、母子保健、巡回健康相談など
	介護保険係	介護保険・給付、高齢者在宅福祉、地域包括支援センター、高齢者対策など
	放射線健康管理係	被ばく健康管理、健康被害対策など
産業・賠償対策課	農林水産係	農業土木、水産業、林業、農業振興、畜産、有害鳥獣、農地災害査定、新規就農対策など
	商工観光係	商工業、事業継続支援、新産業企画、雇用創出など
	賠償支援係	避難者賠償支援、国・東電賠償対策など
復旧事業課	建設管理係	道路、橋梁、災害査定、インフラ復旧計画、復旧事業実施など
	上下水道係	上下水道、災害査定、上下水道復旧計画、復旧事業実施など
福祉こども課	福祉係	社会福祉、障がい者福祉、生活保護、義援金・弔慰金・見舞金等給付、震災遺族対応など
	子育て支援係	子育て支援、保育園等入退所、児童・母子福祉、乳幼児・児童医療、子ども手当など
出納室	出納係	収納・支出事務など
議会事務局		議会庶務、監査など
教育委員会 教育委員会事務局	学校教育係	教育委員会庶務、文化財、学校教育、奨学資金、就学支援など
	生涯学習係	社会教育、社会体育、文化振興、青少年育成など
津島診療所		仮設診療所運営、内部被ばく検査など

4月1日から役場の事務組織が変わります。町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

☎ 総務課行政係
TEL 0243-62-0123

町民の皆さまへ

新年度にあたって

浪江町長 馬場 有

あの忌まわしい震災から1年経ちました。その間、皆さまにはそれぞれ筆舌に表せないご苦労、ご苦悩があったと存じます。否むしる先行が見えない不安に今もさいなまれていることを思うと胸がしめつけられます。町としてこれまで以上に皆さまに寄り添い、生活支援・生活再建に向けて全力を傾注します。さらに、避難地の自治体とも連携を強化し、全面支援をお願いしてまいります。ともに、国に対して放射能のゴミ捨て場にならないよう国家的事業で町の再生を要請してまいります。

さて、町復興検討委員会のビジョンが近くまとなり(3月27日)、町の進む素案が示されます。この素案の考え方の柱は、「それぞれの町民が安心して、自らの今後を選ぶことができる環境・制度・前提をつくっていく」ことでもあります。具体的に「早期帰町希望者」「町内・県外での生活希望者」などそれぞれの視点に立って対応することが必要です。今後はこのビジョンの提言を受け、速やかに町議会に諮り、ビジョンを完成させるとともに、町民の皆さまの意向を実現できる「復興計画」をできるだけ早期に樹立してまいります。

また、先ごろ「損害賠償紛争審査会一次追補」指針が発表されました。残念ながら私たち被災者の苦しみ、つらさを理解しないもん切り型の指針に憤りを感じます。私たちには、「人間らしく健康で文化的生活を営む」生存権があります。「何一つ心配や不安のない恵まれた生活」を追い求める幸福追求権、「貴重なものを守る」財産権、いわゆる憲法に規定された権利があります。国、東電にこれらの最低限の権利を強く訴え戦ってきたいと考えます。

「別れの季節」から「出逢いの季節」が今年も巡ってきました。それぞれ精神的肉体的にも厳しいものがありますが、年度はじめにあたって「何か清新な気持ち」になれる局面を実現したいものです。「花冷え」の言葉がありますが、皆さまには何とぞご健康に留意し、ご精進くださいませようご祈念します。

2大臣等との意見交換

3月10日に平野復興担当大臣・細野環境大臣と、双葉地方8町村長と福島県知事との意見交換を行いました。はじめに国からの提案として、中間貯蔵施設の設置を双葉町・大熊町・楡葉町にお願いたしたとの話がありました。また、キログラムあたり10万ベクレルの放射性廃棄物を処理するための管理型処理場を民間の処理場がある富岡町にお願いたしたとの提案、さらに、放射性廃棄物を含まないうがれきを焼却するため、浪江町・尾村・川内村・広野町のいずれか2町村に焼却場をお願いできないかという提案もありました。

双葉郡としては双葉地方の復興に向けて集団で協議する考えであり、今後とも政府と協議していく所存です。それらの議論を進める前提として、今回、双葉郡として7つの課題を提起しました。1つ目は、双葉郡全体のグランドデザインを国として示すべきであるという点です。我々が復旧・復興するため、どのような双葉郡にするか示して欲しいというものです。今後はキャッチボールしながら協議していくこととなります。

2つ目は、警戒区域の見直しです。区域の見直しに関しては、賠償やインフラの復旧

生活支援、生活再建、健康管理などを含めてすべてをセットにして考えていくべきです。

3つ目は、大規模かつ将来性のある雇用の確保です。国が責任を持って企業誘致を図り、雇用の場を確保することが必要です。

4つ目は、インフラの整備です。人的交流・物的交流・除染の作業道などの観点から交通網の整備が必要です。常磐自動車道、国道6号・114号を復興道路として位置づけ、放射線の遮蔽、トンネル化して通行できるようにすることが必要です。

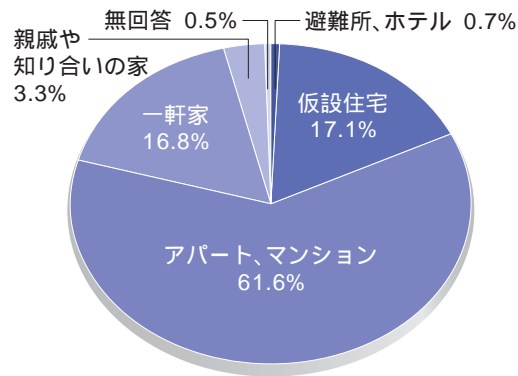
5つ目は、除染の完全実施です。当面の除染だけでなく、森林の除染を含めた完全実施と、それに伴う財源の確保が必要です。

6つ目は、原子力発電所事故の損害の完全賠償です。賠償の問題は具体的に進めることが必要であり、完全賠償の実施なくして今後の生活再建は困難です。

7つ目は、町行政のマンパワーの不足です。被災町民の支援、復旧のための人材の応援が必要です。今後も双葉郡として、浪江町としての要望を引き続き行い、暮らしの再建に向けて1つの展望を見いだしていきたいと考えます。

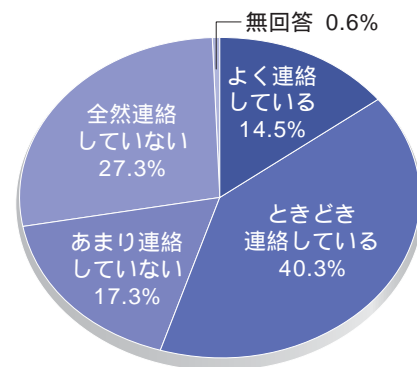
問5 今住んでいる居住形態

「アパート・マンション(61.6%)」が一番多く、借上げ住宅に住んでいる割合が高い。「仮設住宅」は(17.1%)となっている。



問7 浪江町の友だちとの連絡状況

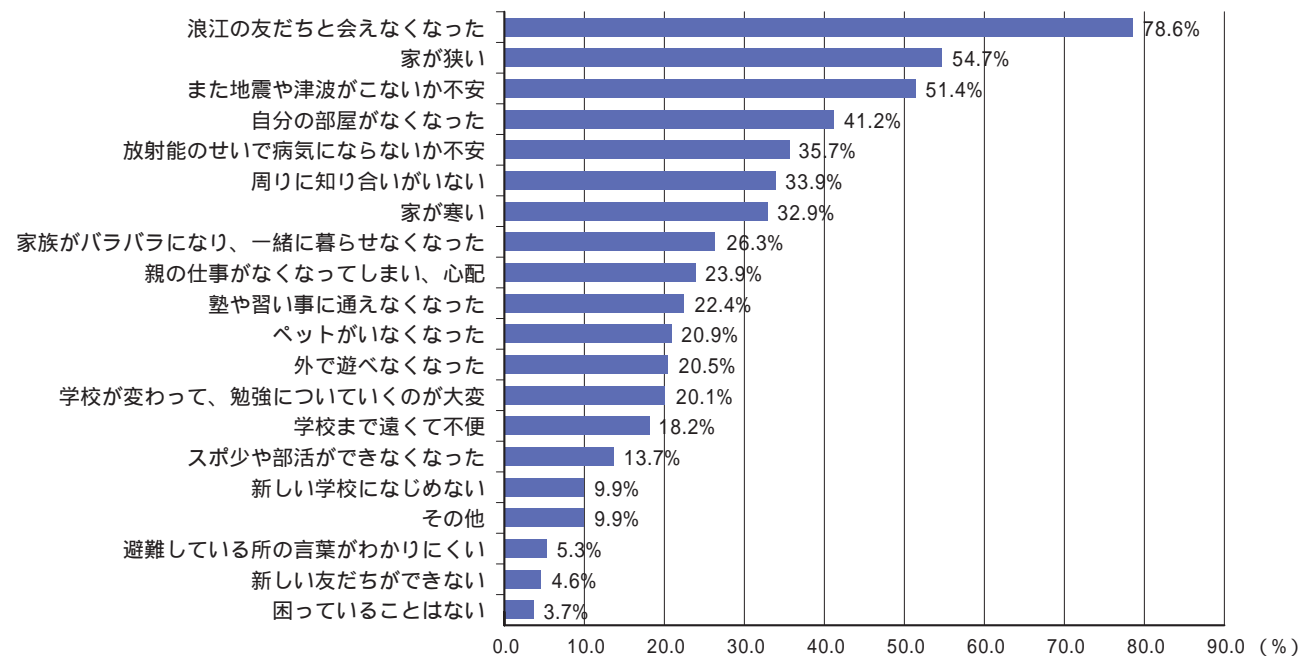
「ときどき連絡している(40.3%)」「よく連絡している(14.5%)」を合わせると54.8%と半数以上が連絡を取っている。反対に「全然連絡していない(27.3%)」「あまり連絡していない(17.3%)」が34.6%と連絡をとっていない子どもも多い。



今の生活状況

問8 今の生活で困っていること

「浪江の友だちと会えなくなった(78.6%)」が最も多い。このほか「家が狭い(54.7%)」「また津波がこないか心配(51.4%)」「自分の部屋が狭くなった(41.2%)」「放射能のせいで病気になるか心配(35.7%)」が多い。



復興に関する 子ども向けアンケート 集計結果

1月に実施した復興に関する子ども向けアンケートの集計結果の概要をお知らせします。この結果は、「浪江町復興ビジョン」の策定に役立てられています。

調査目的

浪江町では、東日本大震災と福島第一原発事故から立ち直るために、「浪江町復興ビジョン」の策定を進めています。そのなかで、子どもたちがいつも感じていることや、考えていることを聞いて、「浪江町復興ビジョン」や今後の行政運営の参考とするためにアンケートを実施しました。

調査対象

小学1年生から中学3年生(平成24年1月現在)

調査方法・時期

郵送により配布、回収(平成24年1月)

配布数 1,697

回収数・率 1,217(71.7%)

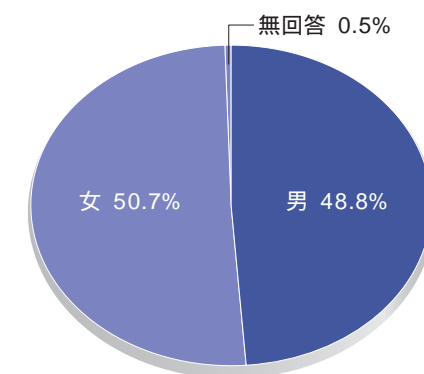
その他

設問の終わりに(複数回答)とある間は、1人の回答者が複数の回答をしているため、回答の合計比率が100%を超える場合があります。

アンケート調査対象者

問1 性別

回答者の性別に大きな偏りはない。



問2 学年

学年での回答数に大きな偏りはない。

学年	生徒数(人)	回答数(人)	回答率(%)
小学1年生	164	117	71.3
小学2年生	177	117	66.1
小学3年生	182	134	73.6
小学4年生	206	147	71.4
小学5年生	183	139	76.0
小学6年生	185	129	69.7
中学1年生	230	163	70.9
中学2年生	182	141	77.5
中学3年生	195	127	65.1
無回答	-	3	-

問3 通っていた学校

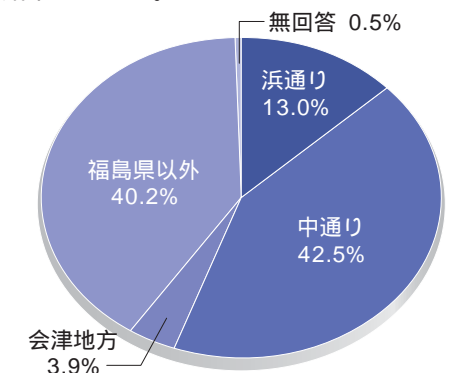
各学校とも回答率は約7割と高い。

学校名	生徒数(人)	回答数(人)	回答率(%)
浪江小学校	631	429	68.0
幾世橋小学校	141	106	75.2
請戸小学校	102	84	82.4
大堀小学校	185	125	67.6
苅野小学校	212	150	70.8
津島小学校	59	40	67.8
浪江中学校	243	173	71.2
浪江東中学校	112	81	72.3
津島中学校	22	20	90.9
無回答	-	9	-

現在中学1年生の生徒数は、震災当時の小学校の児童数に含まれています。

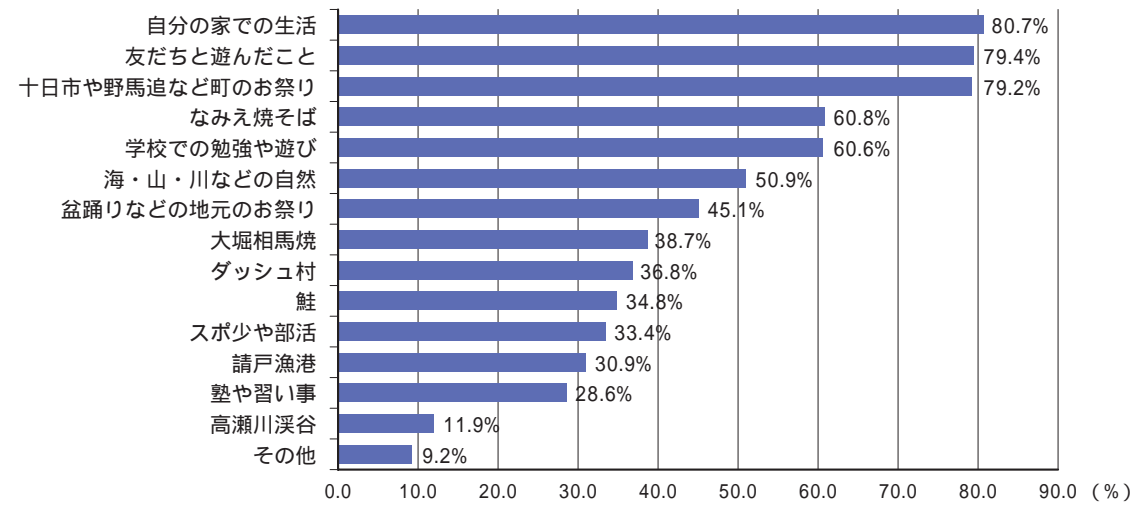
問4 今住んでいる場所

「中通り(42.5%)」が一番多く、次いで「福島県外(40.2%)」が多い。福島県内には59.4%と半数以上が避難しており、復興に関する町民アンケートの避難先の都道府県と似たような結果となった。



問11 浪江町と聞いて思い浮かぶこと

「自分の家での生活」(80.7%)が最も多い。このほか「友だちと遊んだこと」(79.4%)、「十日市や野馬追など町の祭り」(79.2%)、「なみえ焼そば」(60.8%)、「学校での勉強や遊び」(60.6%)が多い。



「その他」の項目

- 海、マリパーク、いこいの村、桜まつり、サンブラザなど。(52件)
- 浪江の学校の先生や友だち。(16件)
- 飼っていたペットと遊んだこと。(5件)
- 浪江の町並みや気候。(5件)
- 田植え踊りやよさこい。(2件)
- 浪江大好きです。(2件)
- 全部。

- お父さんの消防団。
- 家の牛舎のにおい。そこで働くお父さんの姿。
- 思い出すと悲しい気持ちになるので、考えないようにしている。
- 請戸で見る初日の出。
- 家のお墓。
- おじいちゃんがつくっていた畑、田、庭。
- 友だちと遊んでいたことを思い出して、今でもそれを思うと苦しくなる。
- 思い出すのが嫌だ。

自由意見

*今後、冊子ですべての意見をお示しする予定です。

問12 大人になったとき、浪江町はどんな町になってほしいですか (972件) 分類した形で掲載

- 震災前の元の浪江町 (322件)
- 放射能の心配がなく、安全安心できれいな町 (302件)
- 明るく、元気な町 (活気がある町、笑顔がある町、住みやすい町など) (141件)
- 自然豊かな町 (41件)
- 自由に立入ができる町 (帰れるようになってほしい) (31件)
- 災害に強い町 (28件)

- 人が住める町、人がいっぱいいる町 (24件)
- 浪江町には戻れない、浪江町は無くなっている (24件)
- 平和な町 (21件)
- もっと都会らしく、お店や公園などがたくさんある町 (17件)
- 原発がない町 (6件)
- なかよく、みんな、えがおの町 (5件)
- その他 (10件)

問13 その他、町長にお願いしたいこと 分類した形で掲載

- 帰町に関すること (223件)
- 浪江町に帰りたい (162件)
- 町に戻ることはできない (線量の問題、学校の問題など) (23件)
- 戻れるか、戻れないが明確にしてほしい (16件)
- 別の場所に浪江町を作ってほしい (16件)
- 戻れないなら早く賠償をしてほしい (6件)
- 友だちと集まれる機会を設けたり、浪江のときの学校を再開してほしい (146件)
- 復興や除染に関すること (143件)
- 浪江町を復興してほしい (震災前の元の浪江町にしてほしいなど) (73件)
- 除染をして、きれいな町、安全な町にしてほしい (58件)

- 除染は無理 (補償を優先してほしいなど) (8件)
- 町(双葉郡含む)に中間貯蔵施設を作らないでほしい (4件)
- 町長への応援、ねぎらいなど (71件)
- 一時帰宅や学校にあるランドセル等の持ち出しに関すること (35件)
- 住環境に関すること (22件)
- 補償・賠償に関すること (20件)
- 国、東電 (原発) に関すること (16件)
- 学校 (小・中学校) に関すること (11件)
- 将来 (進学) に関すること (11件)
- アンケートに関すること (6件)
- 内部被ばく検査、甲状腺検査等放射能に関すること (3件)
- その他 (34件)

問8

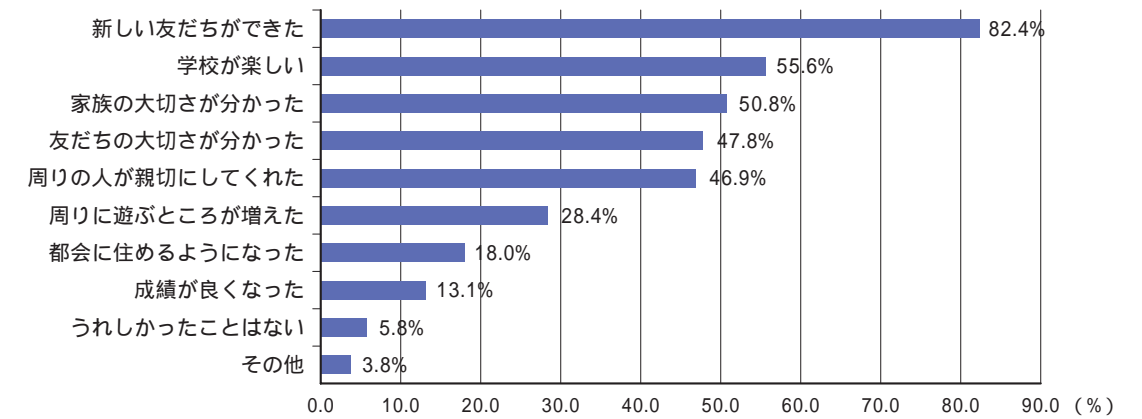
「その他」の項目

- 住環境への不満 (12件)
- 生活環境が悪い (騒音、水道水が臭い、空気が悪い、買い物不便など) (10件)
- 避難先の学校になじめない。(10件)
- 浪江にある荷物などが持ってこれない。(9件)
- 進路への不安。(8件)
- 自分の部屋がなくなり不便。(8件)
- お金 (家のローンや生活費など) の心配。(6件)
- 親族にすぐに会いに行けない。(5件)
- 広い遊び場がなかなかない。(5件)
- 親の仕事に関する心配。(3件)
- 持病が悪化した。(3件)
- ペットが飼えなくなった。(3件)
- 転校したら友だちができるか不安。(2件)

- 親と一緒に暮らせなくなった。一緒に過ごす時間が減った。(2件)
- 避難先の友だちの付き合いになじめない。(2件)
- 成績が落ちた。(2件)
- おばあちゃんがうつになり、みんなにストレスがたまり、ビリビリしてすぐキレるから怖い。
- クラスの男の子に「この小学校の子どもじゃない。早く浪小に帰ったら」などと言われる。
- 祖父母と同居になり、慌ただしすぎてゆっくりする休日もない。
- 自分と妹とのケンカが絶えなくなった。
- 今まで住んでいたところなどをよく思い出して、苦しくなる。
- 家族で一番頼りにしていた人がいなくなった。
- 学校が遠いので、朝が早いし疲れる。
- ひとりぼっちの留守番はさびしい。
- ランドセルと机がなくなった。
- 先が何も決まらないこと。

問9 今の生活でうれしかったこと

「新しい友だちができた」(82.4%)が最も多い。「学校が楽しい」(55.6%)、「家族の大切さが分かった」(50.8%)、「友だちの大切さが分かった」(47.8%)、「周りの人が親切にしてくれた」(46.9%)が多い。



「その他」の項目

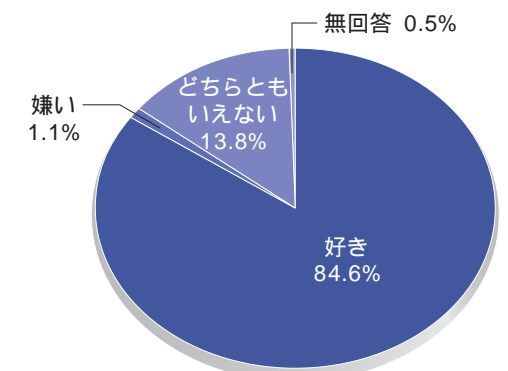
- 浪江にいたら経験できないことができた。(8件)
- 避難先の学校やスポ少などになじめた。(6件)
- 浪江のときの友だちや先生などに会えたことや連絡ができたこと。(6件)
- いろいろな場所に遊びに行けるようになった。(5件)
- 部活が楽しい。(4件)
- 家族と一緒にいる時間が増えた。(3件)

- 浪江の友だちが同じ学校にいる。(2件)
- 放射能の心配がなくなった。(2件)
- 学校が近くなったことや交通の便がよくなった。(2件)
- 大変なことがほとんど。精神的にも。
- 心配なことがなくなった。
- やっと今の生活に慣れることができた。
- 自分の部屋ができてうれしかった。
- 両親が仲良くなった。

浪江町のこと

問10 浪江町のことが好きですか

ほとんどの子どもが「好き」(84.6%)と回答している。中には、「大好き」と記載している回答もあり、浪江町を想う気持ちの強さが見受けられる。



特別会計

63億303万6千円

特別会計は、特定の事業を行う場合に特定の歳入をもって歳出に充てるため、一般会計とは別に設けられたものです。

特別会計名	平成24年度	平成23年度	増減額	伸び率
国民健康保険事業	36億7,946万円	23億5,551万9千円	13億2,394万1千円	56.2%
国民健康保険直営診療施設事業	1億8,330万7千円	1億1,384万1千円	6,946万6千円	61.0%
公共下水道事業	3億3,823万2千円	5億2,194万3千円	△1億8,371万1千円	△35.2%
農業集落排水事業	2,810万9千円	5,210万8千円	△2,399万9千円	△46.1%
後期高齢者医療事業	6,658万5千円	1億7,413万7千円	△1億7,555万2千円	△61.8%
工業団地造成事業	603万9千円	600万円	3万9千円	0.7%
文化及びスポーツ振興育成事業	105万3千円	305万4千円	△200万1千円	△65.5%
財産区管理事業	584万1千円	557万2千円	26万9千円	4.8%
介護保険事業	19億9,440万円	15億8,105万6千円	4億1,334万4千円	26.1%
合計	63億303万6千円	48億1,323万円	14億8,979万6千円	31.0%

水道会計

合理的な企業活動のため、地方公営企業法により設けられた会計です。

区分	平成24年度	平成23年度	増減額	伸び率	
収益的	収入	5億202万円	3億4,611万円	△2億9,409万円	△85.0%
	支出	19億847万円	3億2,013万円	△1億2,166万円	△38.0%
資本的	収入	0円	1,215万円	△1,215万円	△100.0%
	支出	8億268万円	1億8,949万円	△1億681万円	△56.4%

主な事業

平成24年度は、次の事項に重点的に取り組んでいきます。(予算資料から抜粋)

1 健康管理の充実

内部被ばく検査事業 1,704万8千円
予防接種、がん検診等保健事業 9,172万3千円
食品等放射能分析事業 1,260万5千円



2 仮設環境の改善

仮設住宅管理事業 8,176万9千円
仮設住宅等高齢者生活支援事業 1,705万1千円



3 町民をつなぐ絆の維持

行政区・自治会運営助成事業 1,166万円
町民交流会・イベント等開催事業 1,665万3千円



4 つなぐ絆の深化

広報紙発行事業(1万500部) 2,469万円
災害用ホームページ、フォトビジョン運営事業 1,010万円
町民の声収集・記録等事業 2,000万円



5 被災者生活支援

災害弔慰金 5億円
災害障害見舞金 2,500万円
災害援護資金貸付 8,250万円

6 その他

仮設学校運営事業 1億7,803万7千円
保育料助成事業 4,800万円
奨学資金貸付事業 762万1千円
敬老祝い金 1,574万6千円
児童手当 3億3,319万3千円

平成24年度 予算の あらまし

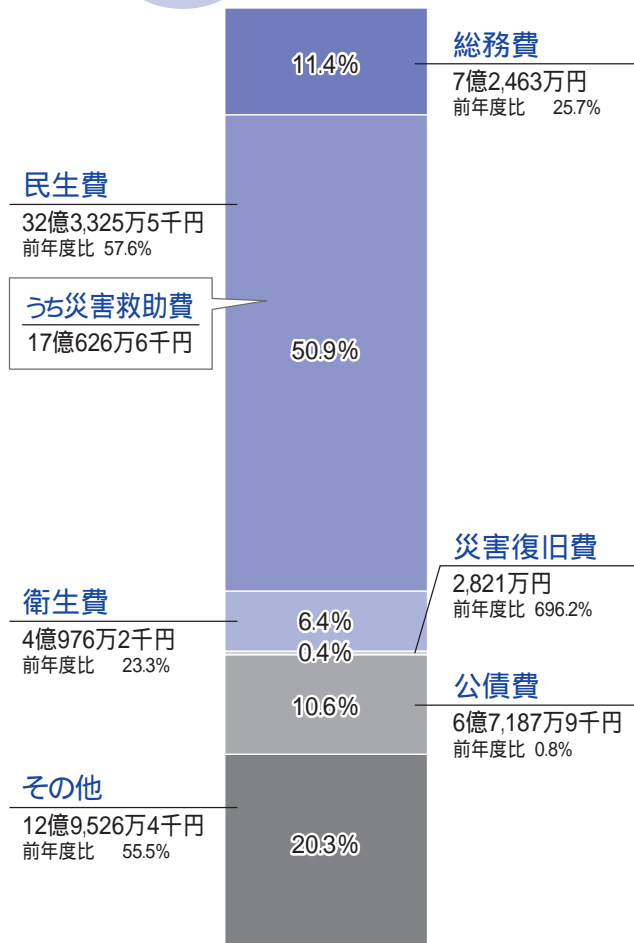
平成24年度の当初予算に基づき、町づくりが動き出しました。歳入のほとんどを国や県へ依存せざるを得ない厳しい財政状況ではありますが、「すべての町民の暮らしの再建」「ふるさとなみえの再生」に向け、各種施策に取り組んでいきます。

今後、除染の進み具合等により、復旧・復興事業も変わっていくことが予想されますが、その都度迅速に対処していきます。

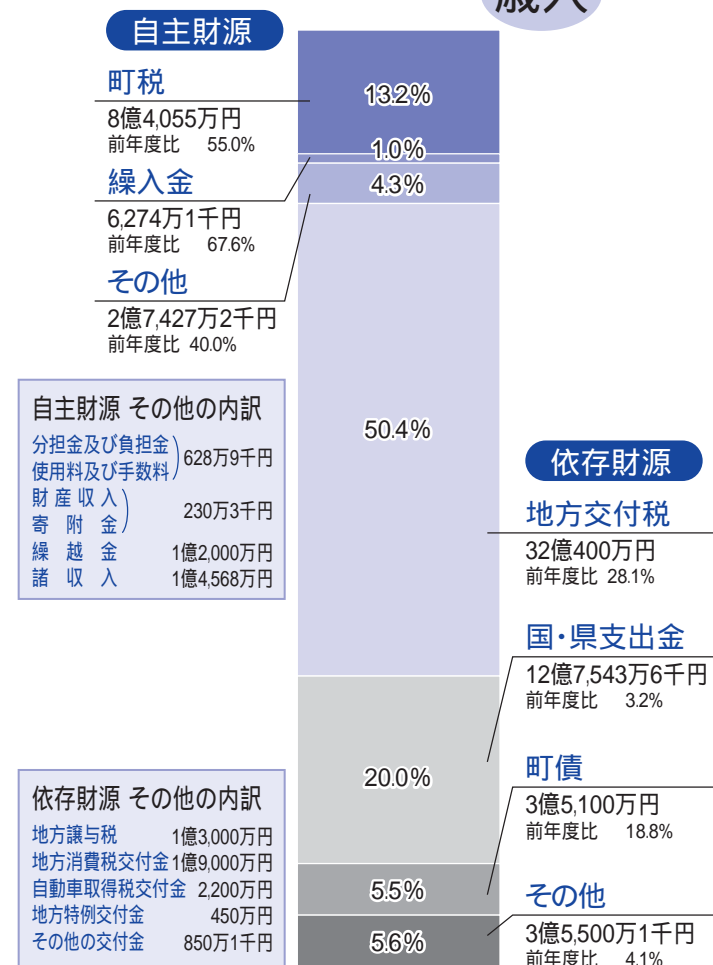
☎ 総務課財政管財係 TEL 0243-62-0123

一般会計 63億6,300万円

歳出



歳入



津島地区自主防災会では、宝くじの助成金により、折りたたみ式リヤカー、投光器、発電機を整備しました。

自主防災活動備品を整備



請戸芸能保存会では、宝くじの助成金により、田植踊りの衣装、獅子舞衣装、獅子頭幕、音響装置を整備しました。震災および原発事故により離ればなれになった子どもたちが集い、全国各地で田植踊りを披露しています。今後も、請戸地区の芸能文化を継承していくとともに、地区の町民のみならず、多くの町民に元氣と希望を与えられるよう活動していきます。

請戸田植踊りなどの衣装を整備

平成23年度宝くじ助成事業

ありがとう ございました



岡山県津山市の津山文化振興財団から楽器が、また、津山ホルンうどん研究会から、津山の子もたち手づくりのふきんやメッセージなどが、浪江小学校へ届けられました。



長瀬 剛さんと奥さまの悦子さんから奥さま手作りのフラワーアレンジメントが届けられました。



宗基金 福岡ソフトバンクホークス 川崎宗則さんから車いす3台が届けられました。いただいた車いすは、各サポートセンター等に設置させていただきました。



平成11年～14年に浪江町の英語指導助手としてお世話になっていたクリスティーン・ノルトンさんから千羽鶴とメッセージが届けられました。クリスティーンさんは、現在、アメリカ合衆国マサチューセッツ州ケンブリッジ市内の高校に勤務されていて、生徒たちと一緒に浪江町の復興と町民の安全を祈り千羽鶴を作ってくださいました。千羽鶴は浪江中学校に飾らせていただきました。



追悼式

東日本大震災から1年を迎えた3月11日、二本松市で浪江町東日本大震災追悼式が行われ、遺族や関係者約300人が犠牲になられた方々の冥福を祈りました。また、東日本大震災浪江町遺族会（会長 叶谷守久さん）の総会も開催され、役員や規約の承認などについて、話し合われました。



3.11復興つどい

3月11日、安達文化ホール（二本松市）でなみえ3.11復興のつどい実行委員会による「なみえ3.11復興のつどい」が開催されました。

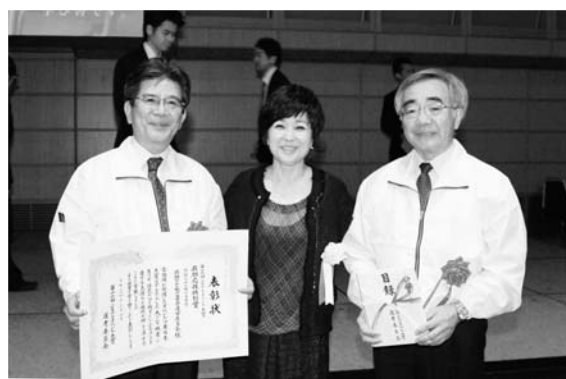
つどいでは、フリーアナウンサーの青山佳世さんによる基調講演のほか、住民の代表の方々とのディスカッションなどが行われました。また、震災のあった14時46分には参加者全員で犠牲になられた方々へ黙とうを捧げました。



ふるさとイベント大賞

3月7日、第16回ふるさとイベント大賞の表彰式が開催され、昨年11月に二本松市で開催された「復興なみえ町十日市祭」が奨励賞と復興応援特別賞を受賞しました。

浪江町の伝統的な祭を避難している中でも継続し、町民の郷土愛や絆をつなぎ、浪江町の復興に寄与したことが評価されての受賞となりました。おめでとうございます。



旅立ちの日

3月13日、昨年8月に再開された浪江中学校で卒業証書授与式が行われ、卒業生14名が、学び舎をあとにし、夢と希望を胸に旅立ちました。また、避難のため離ればなれになった同級生6名も参加し、中学最後の思い出を作りました。



楽しい時間でした



2月25日、会津若松市の錦町町内会館でお茶会と手芸教室が開催されました。

これは、会津地方なみえ会発起人の自主開催によるもので、南相馬市小高区の皆さんでつづられている「小高会」との交流も行われました。

当日は、20名の方が参加し、それぞれに楽しい時間を過ごしました。（「情報ぴっくあっぷ」に設立総会の案内を掲載しています。）

がんばれ!
なみえ

まちの話題

歌声で元気を

2月26日、二本松市の安達運動場仮設住宅で浪江高校音楽部によるミニコンサートが開催されました。

音楽部は、昨年8月に発足し、週3回一生懸命練習を重ねてきました。この日は、校外での初めての演奏でしたが、元気な歌声で住民の方々を楽しませてくれました。



消防団だより

東日本大震災から1年を前に、3月8日、警察官、海上保安庁巡視船「夏井」と「てるかせ」の2隻、県警のヘリ2機、漁協から底引船2隻、広域消防、そして浪江町消防団で請戸と棚塩の沿岸地域で捜索活動を行いました。浪江町消防団訓練分団長 野仁久



3月8日、平成23年度消防功労者消防庁長官表彰式がニッショーホール（東京都）で開催され、浪江町消防団に表彰旗が授与されました。



+ 仮設津島診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243-24-1431

4月2日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
3日(火)	関根・佐藤・手塚
4日(水)	関根・西・手塚
5日(木)	関根・佐藤・手塚
6日(金)	関根・玉井・手塚
9日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
10日(火)	関根・佐藤・手塚
11日(水)	関根・西・手塚
12日(木)	関根・今村・手塚
13日(金)	関根・玉井・手塚
16日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
17日(火)	関根・佐藤・手塚
18日(水)	関根・西・手塚
19日(木)	関根・玉井・手塚
20日(金)	関根・玉井・手塚
23日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
24日(火)	関根・佐藤・手塚
25日(水)	関根・西・手塚
26日(木)	関根・今村・手塚
27日(金)	関根・玉井・手塚

(都合により変更あり)

平成24年度 自動車税の定期課税

平成23年度は東日本大震災の影響により課税時期を延期しましたが、平成24年度は5月31日(木)を納期限として課税します。

☎ 県税務課自動車税担当 ☎ 024-521-7070

県民健康管理調査 「基本調査(問診票)」

福島県では、今回の原子力災害を受け、長期にわたり県民の皆さんの健康を見守り、将来の健康増進につなげていくために、全県民を対象に「県民健康管理調査」を実施しています。

「基本調査(問診票)」は、皆さんの行動記録を元に、原発事故から平成23年7月11日までの4カ月を受けた放射線(外部被ばく)線量を推計する唯一の方法です。

この問診票への記入は、皆さんの健康管理の大切な土台です。調査の趣旨をご理解いただき、問診へのご記入をお願いします。

☎ 福島県立医科大学県民健康管理センター ☎ 024-549-5130

福島県 借上げ住宅制度

福島県内の民間賃貸住宅の借上げ住宅制度は、4月1日以降も受け付けています。(住み替

えと県外から県内に戻る場合も同様です。)

また、現在お住まいの福島県借上げ住宅の契約期間は延長され、終了時期は、平成26年3月31日となります。

* 契約期間満了前に退去する場合は、できるだけ早く仮設住宅等使用終了届を提出してください。(遅くとも必ず退去の1カ月前までに提出してください。)

* 住み替え(県内から県内、県外から県内への異動に限る)は、特別な事情がある場合に限り一度だけ認められます。(世帯分離も含みます。)

☎ 生活支援課住宅支援係 ☎ 024-62-0123

内部被ばく検査 (ホールボディカウンター)

全町民を対象に内部被ばく検査(ホールボディカウンター)を実施します。

- ▽ 受付 4月2日(月) ~
- ▽ 検査開始 4月下旬予定
- 準備が整い次第開始します。

▽ 会場 浪江町仮設診療所となり(安達運動場仮設住宅敷地内)(二本松市油井字長谷堂230番地)

※同封の申込書にてお申し込みください。

☎ 健康保険課放射線健康管理係 ☎ 024-62-0123

福島市内へ避難している皆さまへ ホットサロン「つづ」

福島市社会福祉協議会では、福島市へ避難している方を対象に憩いの場としてホットサロン「つづ」を開催します。

- ▽ 開催日 毎月 第2・第4水曜日
- 9時30分 ~ 11時45分
- ▽ 場所 福島市保健福祉センター 5階 大会議室 (福島市森合町10-1)

参加費 無料

☎ 社会福祉法人 福島市社会福祉協議会(生活復興支援室) ☎ 024-533-8881

☎ f-fukkou@f-shishakyo.or.jp

「福島いのちの電話」春季公開講座

▽ 日程

回	日時	テーマ
第1回	5月12日(土) 13時30分~15時40分	こころのゆとりと絆
第2回	5月19日(土) 13時30分~15時30分	相双地域で展開する精神保健活動
第3回	5月26日(土) 13時30分~15時30分	絵本に学ぶ人生の処世術~人生の三大危機を乗り越える道しるべとは~
第4回	6月2日(土) 13時30分~15時30分	避難とリスク
第5回	6月9日(土) 13時30分~15時40分	紡げ いのちの希望を!

- ▽ 会場 福島市市民会館 2階 中ホール (福島市霞町1番52号)
- ▽ 申し込み期限 5月8日(火)(当日消印有効)
- ▽ 受講料 無料
- ▽ 申し込み方法 公開講座受講申込書に必要事項

国税専門官採用試験

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

仙台国税局に採用されると、税務大学校で研修を受けた後、仙台国税局管内(東北6県)の税務署に配属されます。

- ▽ 受験資格
 - 昭和57年4月2日から平成3年4月1日生まれの方
 - 平成3年4月2日以降生まれの方で次に掲げる方
 - (1) 大学を卒業した方および平成25年3月までに大学を卒業する見込みの方
 - (2) 人事院が(1)に掲げる方と同等の資格があると認める方

生涯学習出前講座を再開します

「いつでも・どこでも・だれでも」が生涯学習活動に取り組めるよう、みなさんの自主的・自発的な学習を支援していた出前講座を再開します。

各種勉強会や文化活動など、生涯を通じて学習していく講座の取り組みなどに対して支援します。

▷ 対象者 浪江町民が代表となっているおおむね10名以上の団体・グループ

▷ 支援内容 1講座につき、講師謝金5,000円(謝金は講師に直接支払います。)

また、同一団体・グループの申請は年2回までとします。

▷ 申請などの方法 「出前講座実施申請書」を講座の14日前までに浪江町教育委員会に提出してください。また、講座修了後は、速やかに「出前講座実施報告書」も提出してください。(提出方法は、直接提出するか、郵送、FAXでも提出できます。)

▷ その他 政治・宗教・営利などを目的とした講座の申請は、受け付けできません。

☎ 浪江町教育委員会 ☎ 0243-62-0301 ☎ 0243-23-7970

在宅高齢者サポート事業

町では、在宅の要介護高齢者等の日常生活を支援するため、介護用品の購入費用を助成します。

▷ 対象者

- 要介護度3以上の要介護認定を受けている方
- 在宅で介護を受けている方で、自立排せつが困難であり、1カ月以上の介護用品使用が必要と認められる方

▷ 申請方法 介護用品給付申請書に領収書等を添付して提出してください。申請書は窓口にあります。電話での請求やホームページからダウンロードもできます。

▷ 助成限度額 1人月額3,000円

▷ 支給方法 利用者または介護者の口座に振り込みます。

* 介護用品とは 紙おむつ、尿取りパット、使い捨て手袋、清拭剤、ドライシャンプーなど

☎ 健康保険課介護保険係 ☎ 0243-62-0123

申し込み受付期間

- ▽ 原則インターネット申し込み
- インターネット申し込み 4月2日(月)9時~12日(木)(受信有効)
- ☎ インターネット申し込み専用アドレス
- http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html
- 郵送・持参申し込み 4月2日(月)~3日(火)
- ☎ 仙台国税局人事第二課試験研修係 ☎ 022-263-1111 (内線3236)

試験名	受付期間 (郵送の場合は、受付最終日の通信日付印有効)	第1次試験
総合職試験 (院卒・大卒程度)	4月2日(月)~9日(月) 【インターネット】	4月29日(月)
	4月2日(月)~3日(火) 【郵送・持参】	
一般職試験 (大卒程度)	4月10日(火)~19日(木) 【インターネット】	6月17日(日)
	4月10日(火)~11日(水) 【郵送・持参】	

会津地方なみえ会設立総会

会津地方およびその周辺に避難している浪江町民の皆さまの絆を深めるため、会津地方なみえ会を設立します。同じ会津地方で暮らす浪江町民が集まり、交流しましょう。皆さまのご参加お待ちしております。

▷ 日時 4月19日(木) 13時30分~15時30分

▷ 会場 会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」3階 研修室2・3(会津若松市栄町3番50号)

▷ 駐車場 駐車場には限りがありますので、提携駐車場や近隣の民間駐車場をご利用ください。また、車の相乗りや公共交通機関のご利用をお願いします。

- 1 会場駐車場……会場地下
- 2 提携駐車場……神明通り第一駐車場
- 3 提携駐車場……山正パーキング

※1~3の駐車場をご利用の際は、会場1階総合案内で割引パンチ等の手続きをしてください。

* 当日参加できず、加入ご希望の方は、発起人までご連絡ください。

鈴木 宏孝(やよい食堂) ☎ 090-2909-6133
 亀田 安子(仙台屋) ☎ 090-6789-2621
 門馬 光男(モンマ理容室) 石井 澄保(石井建具店)
 渡邊りえ子(株東北理工) 元川 雄二(株元川商店)
 宇佐見徳子 高田 真弓

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
 復興推進課情報統計係 TEL0243-62-0123

お誕生

出生届は 14 日以内に (2月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
菅野 暖人 男	美士・智子	西台
本田 芽生 女	仲・実佳	樋渡
石沢 双 男	直樹・めぐみ	権現堂
佐藤 颯 男	英仁・裕美	苅宿
吉田 蒼 男	康弘・莉沙	川添
石澤 奏和 男	佳弥・真弓	権現堂
渡辺 絢 男	敏則・佳代	幾世橋

お悔み

死亡届は 7 日以内に

死亡者名	年齢	住所
平成 23 年 3 月		
谷 存	71 歳	請戸
谷 君子	71 歳	請戸
平成 23 年 4 月		
2月		
横山 マチノ	91 歳	立野
枇々木 クラ	90 歳	立野
佐山 淳一	88 歳	大堀
長橋 マツイ	98 歳	大堀
矢口 文夫	85 歳	立野
富田 美知	83 歳	北幾世橋
渡部 今朝義	90 歳	津島
太田 香	86 歳	北幾世橋
末永 雄二	58 歳	藤橋
天野 藤野	100 歳	高瀬
紺野 壽幸	75 歳	南津島

浪江町への義援金

3月13日現在、839件3億3,764万219円の義援金が寄せられています。このうち、2億7,610万円が町民の皆さまへ配分されています。皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

いわき市立図書館からのお知らせ
 いわき市の図書館では、避難のため市内に居住している方々にもいわき市立図書館利用カードを発行し、図書館サービスを提供しています。
■図書館
 (いわき総合、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉図書館)
 ▼貸出冊数
 図書………15冊まで
 (市内各図書館合計)
 視聴覚資料………2点まで
 (CD、DVD、ビデオ)
 ▼貸出期間
 14日間

■移動図書館(いわき号、しおかぜ)
 ▼貸出冊数
 図書………30冊まで
 ▼貸出期間
 (図書館の貸し出しとは別に借りられます)
 ▼貸出期間
 次の巡回日までの約1ヵ月間
 *その他、インターネット検索などのサービスもあります。
 ※図書館利用カード交付申請時には、本人確認のため免許証等(健康保険証や学生証も可)が必要となります。
 詳しくはお問い合わせください。
TEL 0243-62-0123
FAX 0243-62-0123
TEL 0243-62-0123
FAX 0243-62-0123

つながる ところ

なみえパークゴルフ(PG)協会の皆さまへ

平成23年は、東日本大震災そして原発事故により、避難を余儀なくされ大変な1年でした。1日も早い原発収束そして浪江町の帰還を願うものです。2月21日に開催された役員会の決定事項をお知らせします。

総会開催が困難なため、今回の役員会をもって総会とする。平成23年度事業報告・収支決算承認。平成24年度なみえPG協会は通常通り継続する。平成24年度事業は、3回程度のPG大会を開催し、会員の交流・絆を図る。平成24年度なみえPG協会会費は無料とする。避難各地区活動について

会員の皆さまは、なみえPG協会に入会していますので、避難地区で協会に入り活動する場合は、賛助会員として登録をお願いします。

TEL なみえPG協会事務局 横山 開 TEL 090-2279-6072

「エコクラフトなみえかあちゃんず」展示会

猪苗代リゾートホテルに避難していた皆さんが作成したエコクラフト作品が、猪苗代郵便局で展示されます。ホテルへの避難中、教えていただいたエコクラフトを、仮設に移った現在もみんなで集まり続けています。猪苗代までお越しの際は、お立ち寄りください。展示期間 4月16日～20日 9時～16時 展示場所 猪苗代郵便局(猪苗代町出雲壇72) 代表 佐藤名子 TEL 0243-24-8552(平本)

コーヒータイムの皆さんへ

コーヒータイムは、障がい者福祉事業所です、喫茶店をやっています。震災が起きたとき、コーヒータイムは終わりだと思いました。それが今、二本松市で再開することができました。橋本所長はじめ、コーヒータイムの皆さんと活動することができ、とてもうれしいです。
 *志賀千鶴さん・川添(二本松市)

戸籍 住民票等の発行について

■交付場所・時間

①浪江町役場二本松事務所
 月～金曜日 8時30分～17時15分

*交付できるもの

- 住民票
- 印鑑登録および印鑑証明
- 転出証明書
- 外国人記載事項証明書
- 戸籍謄本、戸籍抄本
- 戸籍の附票
- 身分証明書

②各出張所

月～金曜日 8時30分～17時15分
 ※いわき出張所は、9時～17時

*交付できるもの

出張所ごとに交付できる諸証明は下記のとおりです。

○：即日発行 △：申請のみ(後日郵送)

種類	福島出張所	本宮出張所	いわき出張所	南相馬出張所	桑折出張所
住民票	○	○	○	○	△
印鑑証明書	○	○	○	○	△
転出証明書	○	○	○	○	△
外国人記載事項証明書	△	△	△	△	△
戸籍謄・抄本等	△	△	△	△	△
戸籍の附票	△	△	△	△	△
身分証明書	△	△	△	△	△

【郵便請求の方法】……次の書類を用意して申請してください。

- 1 本人と確認できる書類のコピー
 (顔写真のある運転免許証や住基カード、パスポート、公的機関が発行した各種免許証、保険証等)
- 2 返信用封筒
 送付先の住所、宛名を記載し、切手を貼ってください。
 ※お急ぎの場合で速達を希望する場合は、速達料金分の切手を貼ってください。
- 3 便せん等に次の①～⑤を記入してください。
 ①申請者の氏名
 ②現在の所在地
 ③浪江町の住所
 ④日中連絡が取れる電話番号
 ⑤必要な書類(証明書等)と必要枚数

■手数料

当分の間、個人の方からの申請に限り、発行手数料は無料です。

※第三者および弁護士等が申請する場合は、発行手数料がかかります。郵便で申請する場合は、手数料分の定額小為替を同封してください。

■申請に必要なもの

- 本人と確認できる書類
 (顔写真のある運転免許証や住基カード、パスポート、公的機関が発行した各種免許証、保険証等)
- 印鑑証明書を請求する場合 印鑑登録カード
 カードをお持ちでない場合は、お手数ですが事前にお問い合わせください。
- 次の場合は、申請者本人自署の委任状が必要です。
 ●住民票……本人および同一世帯以外の方が請求する場合
 ●戸籍謄本等……本人およびその配偶者、子、父母以外が請求する場合
 ●身分証明書……本人以外の方が請求する場合
 ●転出証明書……本人および同一世帯以外の方が請求する場合

TEL 浪江町役場二本松事務所 町民税務課住民係
 (〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1)
 TEL 0243-62-0123

〈印鑑証明書を請求する場合〉

●左記1～3と印鑑登録カードのコピー

〈転出証明書を請求する場合〉

- 左記1、2と便せん等に次の①～⑥を記入してください。
 ①浪江町の住所
 ②転出する方全員の氏名および生年月日
 ③日中連絡が取れる電話番号
 ④新しい住所
 ⑤新しい住所に住み始めた日付
 ⑥新しい世帯主

※国民健康保険証、印鑑登録カードの返納がある場合は、同封してください。なお、印鑑登録は、転出と同時に廃止となります。※国民健康保険、介護保険、子ども手当等は別途手続きが必要になる場合があります。

浪江町役場二本松事務所 停電のお知らせ

役場がお借りしている施設の停電を伴う作業のため、事務所内が一時停電し、日直業務ができない状況となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▷停電日時 4月8日(日) 9時～11時の2時間

TEL 総務課財政管財係 TEL 0243-62-0123

大切な郵便物を受け取るために

旧住所(浪江町)あての郵便物の転送は、郵便局へ転居届を出してから1年間です。継続して転送を希望する方や避難先住所が変更になった方は、お近くの郵便局の窓口に転居届を出しましょう。



牛来 美佳さん(川添)

取材者：高崎経済大学櫻井研究室 櫻井
取材日：3月10日

故郷・浪江への思いを歌に込めて この福島の厳しい現実を風化させないためにも

牛来さんは、長女の凛音ちゃん(6歳)と2人で群馬県太田市に暮らしています。

震災後は、郡山市や新潟県新発田市などを20名を超える親族が一緒になって移動し、共同生活を送っていました。現在は、福島に住むご両親とも離ればなれで暮らしています。この3月には、浪江への思いを込めて牛来さんが初めてレコーディングした曲『浪江町で生まれ育った。』がリリースされます。

あの地震のあと、私たちは親戚と一緒に郡山市や新発田市などでそれぞれ2週間ずつ過ごしました。4月末には郡山に戻ったのですが、原発事故のことが気になり、私と一人娘の凛音だけ、土地勘のあった太田市に5月末ごろ移り住みました。時折、車で両親のいる福島に戻りますが、震災前とは異なり、みんなバラバラの生活です。た



美佳さんと凛音ちゃん
HPも見てみてね
<http://mica-gorai.jimdo.com/>

浪江から遠く離れて暮らしてみても、あらためて自分のまちがどんなに素晴らしいところだっ

だ、同じアパートには福島から避難された方がいます。その中に浪江で毎年開催されるストリートミュージックフェスタでお世話になっていた榎谷宏美さんご夫妻もいます。いつも相談に乗っていただけることが本当に心強いです。

震災直後は、家族、友人などがバラバラになったことが信じられず、心の整理がつかまませんでした。そんなとき、ふるさと浪江への思いを歌いたい気持ちが強くなり、一つの詩を作りました。郡山市のライブハウスの店長さんの後押しもあり、この3月にオリジナルCDを出すことになりました。私のような者にも何かやれることがある。

私はまだ仕事も得られず不安が多いですが、とりあえずはこの春の子どもの小学校入学が一番の気がかりです。娘も親としての私も初めての経験です。子どもはよく親を見ています。だからこそ、自分自身がしっかりして、前向きに元気に生活していかなければと思っています。

たかを実感しています。私は春の桜祭りの桜と花火をもう一度見たいです。桜の上に広がる花火がとても美しかったことが懐かしいです。海もある、山もある、そしておいしいものがたくさんあった浪江町。新鮮なお魚や野菜を浪江では近所さんで譲り合っていたのに、こちらではあたり前のことですが毎日お店で購入しなければなりません。浪江は本当に豊かなまちだったのだと思います。

浪江のこころ通信

第10号

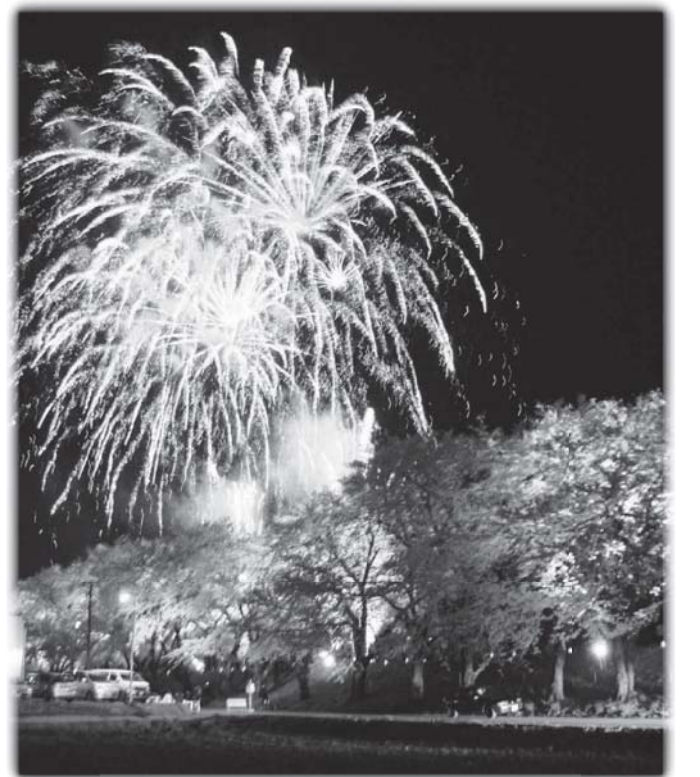
平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

浪江のこころ通信 / 第10号 への感想をお寄せください。
【連絡先】〒976 0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1
男女共生センター内 浪江町役場二本松事務所
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243 22 4261





鈴木酒造店長井蔵 鈴木 大介さん(請戸)

取材者：浪江町役場 近野
取材日：2011年12月17日

2011年内に「壽」を届けたい

浪江町に180年以上続く造り酒屋である「鈴木酒造店」。酒蔵は津波で流失してしまっただが、県の試験場に蔵の酵母が残っていた。その酵母を使い、7月上旬には南会津の蔵を借りて約2,000本の「壽」を出荷する。

その後本格的に製造拠点を探していたところ、山形県長井市に休止している酒蔵があることを知る。最後まで福島県内での再開を模索したが、何としても2011年のうちに浪江の皆さんに「壽」を届けたいとの思いから、その酒蔵を引き継ぐことを決意。12月19日には新たな蔵で仕込んだ「壽」の初出荷を迎えた。



大介さん(前列左)と社長の市夫さん(前列右) 弟の莊司さん(後列左から3番目)らと一緒に。

新天地への葛藤
南会津の酒蔵で製造した約2000本の「壽」は、町民の皆さんにとっても喜んでいただききた。そして、「また壽が飲みたい、造ってほしい」という励ましの言葉をたくさんいただき、本格的な製造を決意しました。福島県内での再開を目指し、新たな拠点探しを始めましたが、福島県内で新たに酒蔵を建設する場合、建設から製造認可まで一年以上かかることがわかりました。福島県内で再開したいと

いう気持ちの一方で、いち早く町民の皆さんに「壽」を届けたい。なんとか2011年内に新酒を出荷したいという強い思いもありました。ちょうどそのころ、山形県長井市に昨年まで酒造りをしていて、休止した酒蔵があることを知り、早速見学に行ったところ、作業動線が考えられていてとても使いやすい造りで、しかも最低限の改修ですぐ酒造りを再開できるようになっていました。福島県内での再開は最後まであきらめられませんでした。

酒造りの再開
新たな酒蔵が決まり、すぐに改修を行いました。まったく土地勘のない地域でしたが、地元の方々以前からお世話になっていただいた方に協力いただき、

浪江町の蔵は津波で流失して、警戒区域が解除されてもすぐに戻れるかどうかはわかりません。しかし、浪江に戻るために酒造免許は浪江に残したままです。そのためにも、長井市での事業を早く軌道に乗せたいです。



松本サチ子さん(請戸)

取材者：特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミル 齋藤、柴田
取材日：3月13日

「また請戸の海を眺めたい」

松本さんは、昨年1月に夫の征夫さんを亡くされ、3月13日の四十九日の準備をしていた矢先の震災でした。息子さんと一緒に3月18日に山形市に避難し、征夫さんの新盆を迎える8月に借り上げ住宅に入り、現在は家族2人で暮らしています。

私たちの家は、隣に2mくらいの堤防がありその隣はすぐ海で船がたくさん泊めてあります。ふつうは地震が起きたときテレビで津波警報が流れば堤防にあがって海の様子を見ますが、その日はあがりませんでした。これは絶対に津波がくると思いましたが、地震に備えて用意していた貴重品を持って、向かいのおばさんに声をかけて、一緒にすぐ大平山に避難しました。漁協組合に動いていた息子とは、サンシャイン浪江で無事に会うことができず。その後、息子と親戚と一緒に津島、川俣町へ避難して、3月18日に娘の親戚のいる山形県山形市に避難しました。着るものは避難所ですとどいたいただきました。サンダル履きで着の身着のまま避難したのでありがたかったです。

見つけたときは嬉しかったです。山形は今年大雪で、出かけるのが大変でした。気候の穏やかな浜通りを思い出します。でも、車の修理が終わって来たので、雪が溶けたら自分で運転して出かけたと思っています。山形では、避難所で一緒に過ごした皆さんと温泉に行つて話ができる会を楽しみにしています。先日、福島の仮設に住む友人や親戚に会い食事できました。親しい人とあひさつしたりお茶飲みしたりとか、そういう絆がないのは不安ですが、娘夫婦や孫も夏に遊びに来てくれ、息子も山形と一緒に生活できるので今は安心です。



現在お住まいのアパートで

仕込みができるまでになりました。改修に合わせて、震災前から構想していた、通年で仕込み・出荷ができる冷蔵設備も整備しました。

蔵の改修と並行して、11月上旬から弟夫婦とともに仕込みを始めました。仕込みでは山形県の米を使うことになりましたが、今後は浪江のころと同様に契約農家から仕入れた酒米を使う予定です。また、長井は水が良いので、水の良さが出ていると思います。

この酒蔵では「壽」の他に、地元の方に向けて、元々の酒蔵で造っていた「一生幸福」という銘柄を造っています。地元のお酒を引き継いで造っていくことで、山形県の皆さんにも応援していただきたいと思っています。



代表取締役社長 **松原 茂さん**(権現堂)

取材者：浪江町役場 長沼・嶋原
取材日：3月10日

人の力の大きさとつながりを感じて
前向きに再オープン

昭和2年に日用・雑貨品店として曾祖父が創業された松葉屋は85年の歴史を持ちます。サンブラザは昭和54年に開業し今年で33年目。地元で密着し、子どもからお年寄りまで浪江町民の憩いの場でした。4代目の松原茂さんは、さまざまな困難にも常に前向きに人を大事にする気持ちで進み、3月8日にみんなの希望を乗せて新たなスタート切りしました。



スタッフの皆さんと一緒に(中央が松原さん)

震災時は店にいました。店はガラスが一部割れたのみで被害は少なく、夕方には臨時休業にしたものの、翌日9時に集合と従業員に話しました。その後、避難を余儀なくされて、家族と一緒に原町、飯館、福島、山形、新潟と移りました。5月に郡山に仮事務所を置いたため、新潟の家族と離れて単身生活をしています。はじめは店舗の再開は難しい

震災時は店にいました。店はガラスが一部割れたのみで被害は少なく、夕方には臨時休業にしたものの、翌日9時に集合と従業員に話しました。その後、避難を余儀なくされて、家族と一緒に原町、飯館、福島、山形、新潟と移りました。5月に郡山に仮事務所を置いたため、新潟の家族と離れて単身生活をしています。はじめは店舗の再開は難しい



監督 **菊地 晃さん**(菊宿)

取材者：浪江町役場 長沼・嶋原
取材日：3月10日

一緒にバレーボールをしませんか

菊野ジュニアバレーボールクラブで監督を始めてから5年目の菊地さん。二本松市に奥さんと3人のお子さんとの5人で暮らしています。昨年の10月から仕事を再開し、クラブも10月から本格的に活動を開始しました。「誰かがやらないとやれないこと。できる限り続けていきたい。今、出来ることをやっていきたい。」と力強く話してくださいました。

震災時は勤務先の一樹デパートのビルセンターで仕事をしていた。初めて体験する強い揺れに利用者さんが動揺しないように声をかけ、揺れがおさまるのを待ちました。地震のあと今度は津波がくるという話を聞き、利用者さんと一緒に菊野小へ避難しました。夜になり、食料もあり電気もつくということで、会社の方で一晩を過ごしました。次の日、利用者さんの家族がきて原発が危ないことを知り、利用者さんと職員と自分の家族と一緒に津島から避難先を転々としてきました。3月22日に最後の利用者さんを無事家族のもとへ送り届け、その後、岳温泉に避難し、今は二本松市の借上げ住宅で暮らしています。

浪江では菊野ジュニアバレーボールクラブの指導をしていました。岳温泉にいた4月に、クラブのメンバーから「外で遊べない。バレーボールがしたい。」と言われたことがきっかけとなり、「体育館でバレーを通して遊ばないか。」と、声掛けをしました。二本松市役所に相談して初めてお借りしたあたらしく



クラブのメンバーと菊地さん。一緒に始めてみたい方は、役場スポーツ少年団担当(☎0243-62-0123)までご連絡ください。

学校では、小学生から大人まで12、13人が参加してくれました。練習を重ねると子どもたちの「試合に出たい。」という思いも強くなり、10月に県へ登録してクラブとして始めました。現在は、原瀬小学校を拠点として、土曜日の9時から12時までと火曜日の18時から20時までで活動しています。現在のメンバーは8人です。もともとメンバーだった子どもだけでなく、新たに始めた子は土曜日だけの活動をしています。子どもたちは体を動かしているのと表情が違います。練習はつらいこともありますが、勝ったときの子どもたちの表情がとてもいいです。6年生が他県に避難していませんが、上の子が下の子に伝えていく以前と同じ縦のつながりもできました。そんな子どもたちを見ている保護者の方々も一生懸命サポートしてくれま



参加したみなさんの感想

色々なお話が聞けたり、懐かしい顔が見れて楽しい時間がすごせました。自分の思っている事、考えている事を、冷静に聞いてもらえて嬉しかったです。浪江の情報があったので参加してよかったです。私の思っていた要望事項を伝えられる機会があった。県外に避難しているとなかなかこういった機会がない。無駄話のようでも顔を見ておしゃべりする大切さを痛感しました。楽しかったです。溜まったストレスが解消されました。同じことを思っている人がいて少しホッとしてました。つらいと思っているのは自分だけじゃないんだという気持ちと、溜まっていた事を吐き出せた事でストレスの発散になりました。知っている人がいなかったのは少し残念。気分転換できて良かった！今後もこのような機会があれば嬉しいです。一人で悩んでいたことが皆さんの話を聞いて楽になりました。久しぶりになつかしい人に会えてホッとした時間でした。大変良かった。家族、職場以外で人と話すのがなかったためこういう機会が良い。学生の皆さんが私たち被災者のために真剣に取り組んでいる姿に感謝したい。

「なみえの“しゃべり場”」以外の交流会にも、たくさんの町民の皆さんにご参加いただいています。



浪江白河ネットワークの皆さんが中心となり開催（白河市会場）

懐かしい話に笑顔がこぼれます。（会津地方交流会）



お茶を飲みながらゆっくりお話。たくさん浪江の方に会えます。（左：郡山市会場 右：仙台市会場）



なみえ絆いわき会が中心となり開催（いわき市会場）

福島市会場にもたくさんの方が集まりました。



みんなで一緒に話そうよ

県内外各地で町民の皆さんが集える交流会が開催されています。各地の交流会の様子をお知らせします。皆さんも参加して、一緒に話しませんか。

交流会に関するお問い合わせ
生活支援課避難生活支援係
☎0243-62-0123

今後の日程は、決まり次第お知らせします。



東京会場

なみえの“しゃべり場”

「なみえの“しゃべり場”」が、東京都や埼玉県など県外で開催され、各会場たくさんの「浪江のなかま」が参加しています。

「なみえの“しゃべり場”」は、高崎市域震災復興支援委員会の協力のもと開催しており、全体のコーディネーターとして、高崎経済大学の櫻井常矢先生をお迎えしました。当日は、同大学の学生の皆さんが参加し、町民の皆さんの浪江町への思いや困っていること、不満、悩み、お願いなどさまざまことを伺いました。



大学の学生さんと一緒に（埼玉会場）



各会場にキッズルームが設けられています。お子さまと一緒にの参加もお待ちしております。

各テーブルで大学の学生さんが聞き取りした内容を、会場の皆さんと共有しています。



各会場とも浪江町の写真が展示されています。

当日プログラム(各会場共通)

- 13時 開場
- 13時30分 開会
浪江の今を説明します
浪江の風景写真などをご覧ください
しゃべり場スタート
- 15時30分 閉会

* 閉会後も16時30分まで開場を開放しているので、自由にお話できます。

スクリーンに浪江の懐かしい写真が映し出されています。（新潟会場）



連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目196-1
(福島県男女共生センター内)
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261
- 浪江町役場二本松第二事務所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
FAX 0243-23-7970
- 浪江町教育委員会 TEL 0243-62-0301
- 二本松連絡所 TEL 0243-62-0302
- 福島出張所
〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753
- 本宮出張所
〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187
- 桑折出張所
〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(旧東北農政局福島農政事務所南相馬統計・情報センター)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0917
福島県二本松市本町一丁目60番地の2
(安達地方広域行政組合自治センター2階)
TEL 0243-22-9531 FAX 0243-22-9532
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

空間放射線量測定結果

町が独自に実施した空間放射線量測定結果をお知らせします。

問 災害対策課放射線対策係 TEL 0243-62-0123

(測定地:地上高H=1.0m 単位:μSv/h)

浪江町内小中学校等 ※浪江町内は、月1回で測定

測定地	測定値 (1月13日)	測定値 (2月17日)	測定値 (3月2日)
役場津島支所	7.69	6.29	6.45
津島小学校	7.80	6.98	6.22
津島中学校	7.46	2.52	2.22
浪江高等学校津島校	14.10	9.37	9.84
荻野小学校	8.03	7.60	8.00
中上ノ原A町営住宅(公園中央南)	6.96	6.75	6.79
大堀小学校	6.84	6.14	6.06
浪江中学校	10.00	9.55	9.42
ふれあいセンターなみえ	6.27	2.28	1.59
浪江小学校	1.26	1.48	1.06
浪江高等学校	3.87	3.82	3.56
浪江日本ブレーキ工場門前	1.45	1.38	1.30
浪江町役場	0.61	0.60	0.52
エスエス製薬(株)福島工場敷地(北西)	0.55	0.64	0.56
幾世橋小学校	0.67	0.54	0.48
請戸小学校	0.31	0.31	0.28
浪江東中学校	0.58	0.55	0.50

仮設住宅等(二本松市)

測定地	測定値 (3月6日)	測定値 (3月12日)	測定値 (3月19日)
郭内公園仮設住宅	0.29	0.35	0.34
塩沢農村広場仮設住宅	0.14	0.15	0.21
安達運動場仮設住宅(Aブロック)	0.26	0.28	0.38
安達運動場仮設住宅(Bブロック)	0.22	0.26	0.27
浪江小学校(旧下川崎小)	0.44	0.51	0.54
浪江中学校(旧針道小)	0.34	0.35	0.36
建設技術学院跡仮設住宅	0.25	0.26	0.31
大平農村広場仮設住宅	0.28	0.28	0.29
杉内多目的運動広場仮設住宅(F1西)	0.17	0.18	0.23
杉内多目的運動広場仮設住宅(掲示板前)	0.17	0.18	0.22
旧平石小学校仮設住宅	0.23	0.25	0.24
杉田農村広場仮設住宅	0.46	0.52	0.62
杉田住民センター仮設住宅	0.27	0.30	0.30
永田農村広場仮設住宅	0.10	0.12	0.13
岳下住民センター仮設住宅	0.28	0.36	0.35

仮設住宅(桑折町、福島市)

測定地	測定値 (3月1日)	測定値 (3月8日)	測定値 (3月15日)
桑折駅前仮設住宅(第一集会所)	0.12	0.12	0.12
桑折駅前仮設住宅(第二集会所)	0.13	0.13	0.13
桑折駅前仮設住宅(第三集会所)	0.15	0.14	0.15
宮代第二仮設住宅(西側)	0.21	0.21	0.22
宮代第一仮設住宅(集会所)	0.21	0.22	0.27
北幹線第一仮設住宅(北集会所)	0.10	0.13	0.14
北幹線第一仮設住宅(南集会所)	0.12	0.15	0.15
笹谷東部仮設住宅(東集会所)	0.16	0.19	0.20
笹谷東部仮設住宅(西集会所)	0.21	0.23	0.24
南矢野目仮設住宅(北集会所)	0.12	0.13	0.12
南矢野目仮設住宅(南集会所)	0.11	0.11	0.11
森合仮設住宅(集会所)	0.37	0.37	0.40
しのぶ台仮設住宅(中央)	0.10	0.10	0.11
旧佐原小学校仮設住宅(中央)	0.06	0.07	0.06

仮設住宅(本宮市)

測定地	測定値 (2月28日)	測定値 (3月6日)	測定値 (3月13日)
恵向仮設住宅(集会所)	0.21	0.25	0.24
恵向仮設住宅(談話室)	0.38	0.37	0.41
高木運動場仮設住宅	0.33	0.31	0.33
小田部仮設住宅	0.25	0.22	0.44
石神第一仮設住宅	0.32	0.33	0.37
石神第二仮設住宅	0.29	0.27	0.33
和田石上仮設住宅	0.21	0.20	0.21
栗木平仮設住宅	0.22	0.22	0.24



平成24年4月 555
毎月1回1日発行

発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課
福島県二本松市郭内一丁目196-1男女共生センター内
TEL 0243-62-0123(内) FAX 0243-22-4261
http://www.town.namie.fukushima.jp



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

